

1 テーマ

花いっぱいのある学校づくり

一季節を感じ、仲間とふれあい、学校や地域に愛着をもつ栽培活動を通してー

2 ねらい

- ・「花いっぱいのある学校づくり」をテーマに、学校生活に落ち着きと活気をもたせる。
- ・児童と保護者、地域が協力して自慢のできる学校・地域・ふるさとをつくっていかうとする土壌を育てる。
- ・児童が進めるエコ活動の一環として省エネ活動及び緑のカーテン活動に取組み、豊かな環境づくりを進めようとする意欲を育てる。
- ・児童や保護者にとってより魅力ある環境整備をめざし、図書館経営や学校農園の活用をすすめる。

3 活動内容

(1) 異学年で進める栽培活動

- ・生活環境委員会が「マイプランターづくり」の計画を立て、児童が異学年でペアになって苗を植え、花を咲かせる全校活動を実施した。

(2) 学校花壇を花で飾る活動、栽培でエコリサイクルを体感する活動

- ・苗の専門販売店の方からリサイクル可能な栽培方法を子どもたちが学ぶ機会をもつことでエコリサイクルを体感させるとともに、花を大切に育てたり、土を再利用したりすることで、自然と生命を慈しむ心情の育成をめざした。

(3) オレンジガーデニングプロジェクト参加

- ・地域のお年寄りが集う包括支援センターが実施する「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加することで、お年寄りをいたわるとともに、ふるさとを愛する心情の育成をめざした。

(4) 講師による栽培活動講座

- ・米づくりについて地域講師から話を聞く授業と、稲作の実体験（田植え・除草・稲刈り）を実施した。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・花いっぱい活動と野菜栽培活動では、高学年の児童が異学年とペアになって育てる活動や、一人でひとつプランターをつくる活動を通して、豊かな環境づくりをしたいという児童の意欲が高まった。
- ・花を育てることを通してエコリサイクルについて体感したり、自然と生命を慈しむ心情が育成できた。
- ・オレンジガーデニングプロジェクトに参加することで、ふるさとを愛する心情が育った。
- ・図書館司書による本の紹介、読み聞かせ、図書館整備、委員会補助、授業への読書支援などにより、子どもの読書への意欲関心が高まった。保護者アンケートでは「読書環境を整え、読書に親しむ活動を進めているか」の項目で 83% の保護者に「とてもよい・よい」の評価をいただいた。
- ・地域講師の指導のもと、体験学習（田植え、除草、稲刈り、米販売）を行うことで、食の大切さを実感できた。

(2) 課題

- ・保護者が参加する機会が少なかった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校ホームページに事業計画・予算書と特色ある学校づくり事業（マイプランター、野菜づくり、図書集会、校内整備員の作業）についての取組を 10 回以上紹介した。
- ・保護者と校区に配布する学校だよりで、事業についての取組を 5 回以上紹介した。